目標の進捗状況報告書

(2012年度·大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

Ⅰ. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

77.0	日 日 二 次 日 画 と 日
対象部局	商学研究科
大項目	7 国際交流 (研究科)
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流(国内外における教育研究交流)についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流(国内外における教育研究交流)を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性
	(KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況 (院)

Ⅱ. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。 進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。 A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

A: 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。

B: 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。

C: 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。

D: 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」		進捗評価				
2000年及に改定した。日禄」	在的日1次07.161次]		2009	2010	2011	2012	2013
1. 交換留学制度、EUIJの制度等を利用した積極的な海外での研究活動に対する支援。	→留学者数、EUIJプログラム参加 者数の増加。	\Box	В	В	В		
2. 海外での学会、ワークショップへの参加の支援。	→法人への働きかけを通じた支援 制度の実現。		В	С	С		

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」		2009	2010	2011	2012	2013
	\rightarrow	\Box					
	\rightarrow	$\qquad \qquad \Box \rangle$					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

☆	目標1	商学研究科大学院生の交換留学制度の利用はなかったが、後期課程大学院生1名がEUIJ博士後期課程・PD EU研究調査旅行助成制度を 利用して、ベルギー、ドイツ、イタリアの大学教授、大学図書館、証券取引所、欧州中央銀行を訪問し、インタビューや文献調査を 行った。進捗評価に変化はない。
		大学院生の海外での学会、ワークショップでの発表支援については、大学全体の支援制度を大学院生に公表、周知している。残念ながら、2011年度における商学研究科の大学院生の申請はあったが、実際の利用はなかった。進捗評価に変化はない。
	備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能なため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【商学研究科】				単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考		
指標1 国際交流協定締結機関数				機関	1	1	1	1	1	1			
指標2 国際交流協定締結国数				围	1	1	1	1	1	1			
	海外からの受け入れ学生数	国 数		国	_	_	_	_	_		累計数		
		外国人留学生	正規	人	17	20	28	27	28	26	・※5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・特別学生を含む		
指標3		外国人留于工	交換	人	1	0	1	0	0		・累計数 ・交換は正規以外とする。 ・大学院短期留学を含む		
		 外国人留学生	正規	%	40.5	50.0	49.1	50.9	53.8	50.0	·外国人留学生÷在籍学生数		
		在籍学生比率	交換	%	2.4	0.0	1.8	0.0	0.0				
		その他 (セミナー等による れ)	る受け入	人	_	_	_	_	_				
	海外への派遣学生数	国 数		国	_	_	_	_	_		累計数		
		人数	長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1学期以上を「長期」		
指標4			短期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1学期未満を「短期」		
			長期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		 海外へ派遣した学生数÷在籍学生数		
		在籍学生比率	短期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		海外へ派遣しだ字生数・仕精子生数 		
+6+=-	海外からの受け入れ教員数 短期		長期	人	0.0	0.0	0	0	0		・累計数 ・1年間以上を「長期」		
扫惊3			短期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間未満を「短期」		
+15.4冊~	長期		長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間以上を「長期」		
指標6	海外への派遣教員数	派道教員数 <u></u> 短期		人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間未満を「短期」		
指標7 国連ボランティア(UNV)の参加者数				人	_	_	_	0	0		・累計数 ・春・秋の合計		

[※]指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)